
平成27年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成27年3月10日

質問者（質問順）

- 1 荒木 由美子 委員（共産党）
- 2 高橋 徳美 委員（自民党）
- 3 草間 剛 委員（自民党）
- 4 斎藤 真二 委員（公明党）
- 5 森 敏明 委員（民主党）
- 6 伊藤 大貴 委員（結ぶ会）
- 7 平野 和之 委員（みんな）

交 通 局

局 別 審 査

1 荒 木 由 美 子 委 員 (共 産 党)

1 自 動 車 事 業 に つ い て

- (1) バスの運転手の安全運行についてどのように考え、対策をしているのか。
- (2) バス運転手の現在の勤務形態はどうなっているのか。
- (3) 変形労働制を導入したことによって、運転手の健康管理の上で影響はないのか。
- (4) 運転手の給与は、同じ市の職員と比較してどうなっているのか。
- (5) ある営業所職員の勤務表では、出勤が朝6時前後で終わりが夜8時半頃という勤務が、週5日のうち4日間であったが、これは労務管理として適正なのか。
- (6) 勤務表に労働時間と超勤時間が入っていないことについて見解を伺いたい。
- (7) 朝出勤してバスを動かすまでの安全点検の時間は交通局では約20分と聞いている。20分と短くしている点は知っているか。
- (8) この点について改善要望が出ており、改善できると思うが見解を伺いたい。
- (9) 営業所を配転する場合、どのように配転されるのか。
- (10) 運転手が営業所を異動し、新しい路線を走ることに対しては、どのような研修方法をとっているのか。
- (11) 新しい路線を、3日間や4日間で覚えられるものなのか。
- (12) 新しい営業所に行って全く知らない路線をいきなり走るのは、3日間、4日間で本当にできるのか。
- (13) 研修なので労働時間に加味されると思うが、ある運転手は休日に行ったと言っているが、これは正しいのか。
- (14) もしそういう事実があった場合は、是正してもらえるか。
- (15) 新人で採用した場合、実車で空車実習するのは、24日間と短いと聞いている。これで安全運行に繋がるのか。
- (16) 運転手の確保状況は90%で、必死になって新しい人を採用して、とにかく早く乗せたいというのが現状ではないか。改善できるのか。

- (17) バス運転手の賃金は、横浜市の職員と比較しても低い現状がある。超勤しながらやっと人並の生活ができるというのは問題だと思う。改善の要望をするが見解について伺いたい。
- (18) 運転手の賃金を引き下げることが経営努力になるという考え方は根本的に間違っていると思うが、見解を伺いたい。
- (19) 例えば福寿荘というバス停ではトイレがなく、ずっと改善要望が出されているが、どうして放置されているのか。
- (20) 民間バス会社はトイレを真っ先に整備していると聞いている。当たり前のことだと思う。どうして放置しているのか、もう一度伺う。
- (21) 横浜駅西口では、待機場所がなく、運転手はバスロータリーに入れるまでずっとハンドルを握っている。これは休憩ではないが見解を伺いたい。
- (22) 横浜駅西口では、待機場所がないから、休憩時間としてカウントされているが、実際にはバスから離れられない。この点も改善を求めるが見解を伺いたい。
- (要望) 労働時間と超過勤務時間が記入されていないことは、所定労働時間と残業時間を明確にする必要があるため、改善してほしい。
- (要望) 配転後の研修期間などは個々のケース・バイ・ケースで対応して欲しい。
- (意見) 運転手の健康管理の点で、トイレを設置するべきだと思う。

2 南区役所移転にかかわる足の確保について

- (1) 来年1月に南区役所が移転することが決まっているが、79系統についてはどのように検討しているのか。
- (2) 神奈川中央交通のバス路線を新区庁舎まで延伸することは、現状では難しいと聞いている。公営交通としてどう考えているのか。

2 高橋徳美委員（自民党）

1 市営バスの経営状況について

- (1) 27年度予算編成を終えた所感を伺いたい。
 - (2) 自動車事業会計の経常利益が減少した理由は何か。
 - (3) バス乗務員の職員数とその内訳について23年度と27年度予算案を比較してどうか。
 - (4) 自動車事業会計の人件費について23年度と27年度予算案を比較してどうか。
 - (5) 自動車事業の今後の収支見通しはどうか。
 - (6) 累積欠損金を解消していくためにどのように取り組んでいくのか。また、累積欠損金解消の見込みはいつ頃か。
 - (7) 新たな中期経営計画の初年度となるが、今後のバス事業の経営に対する局長の考え方を伺いたい。
- (要望) 安全運行を第一に、自立した健全経営を持続していただくことをお願いしたい。

2 貸切バスの条例改正について

- (1) 国が公示した新料金制度とはどのようなものか。
- (2) 今回の条例改正における主な改正点は何か。
- (3) 民間事業者や近隣の公営交通事業者の新制度への移行状況はどうか。
- (4) 新料金制度への移行により、どのような課題があると考えているか。
- (5) 交通局としてどのような対策をとっていくのか。

3 滝頭営業所の国道側の歩道拡幅について

- (1) 国道側の塀が老朽化しているようだが、安全なのか。
- (2) 歩道に接したスロープに設置している縁は危険はないのか。
- (3) 地域貢献として交通局で歩道拡幅してはどうか伺いたい。

(4) 駐輪場の整備も合わせてやってはどうか伺いたい。

(要望) 安全対策に合わせて、歩道拡幅についても検討していただく様、要望します。

4 業務用タブレット端末の本格導入について

(1) 業務用タブレット端末の導入目的と規模について伺いたい。

(2) 試行導入で得られた具体的な効果について伺いたい。

(3) タブレット端末を運用するうえでのセキュリティー確保について伺いたい。

(4) タブレット端末を業務でどのように活用していくのか、今後の計画や方向性について伺いたい。

5 職員のアイデアを活用した取組について

(1) 横浜市技術提案最優秀賞受賞のアイデアが生まれた経緯を伺いたい。

(2) 職員提案制度と自主企画事業支援制度の実施状況について伺いたい。

(3) 職員提案制度と自主企画事業支援制度の改善について伺いたい。

(4) 職員のアイデアの活用状況について局長の所感を伺いたい。

6 地下鉄のさらなる耐震補強について

(1) さらなる耐震補強とは何か。

(2) どのような補強を行うのか、具体的な補強方法を伺いたい。

(3) さらなる耐震補強の全体計画について伺いたい。

(4) 優先して補強する区間の考え方について伺いたい。

(5) 災害対策に対する考えについて伺いたい。

7 今後の市営交通について

(1) 今後の市営交通はどのような役割と責任を果たしていくべきか伺いたい。

3 草間 剛 委員（自民党）

1 ブルーラインの快速運転について

- (1) 快速運転の導入に伴い、どのような効果があると考えているか。
- (2) 快速列車が都筑区の全駅に停車する意義と影響について伺いたい。
- (3) 通勤時間帯にも快速運転を導入するべきと考えるが、見解について伺いたい。

2 グリーンラインのダイヤ改正の効果と今後について

- (1) 増発した後の混雑率について伺いたい。
 - (2) 終電時間をさらに繰り下げることができないのか。
 - (3) 今後の沿線の人口増に備えた取組を進めていくべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 輸送力の改善については、人口増に対応できるよう迅速に行って欲しい。

3 市営地下鉄での接遇の取組について

- (1) 地下鉄を気持ちよく利用いただくために、どのような取組を行っているのか。
- (2) 接遇に関して利用者からどのように評価されているのか。
- (3) 外国や国内から多くの方が訪れると思われるが、どのような対応を考えているのか。

4 駅ナカ・高架下などの資産の活用について

- (1) センター南北駅間の地下鉄高架下について、現在の活用状況はどうなっているのか。
- (2) 駅ナカ事業用の区画の今後の開発見込みはどうか。
- (3) 駅ナカ店舗の活性化の考えについて伺いたい。

5 広告事業について

- (1) 現在の広告の状況について伺いたい。

- (2) これまで、増収に向けてどのような取組を行ってきたのか。
- (3) 広告掲出に関するルールについて伺いたい。
- (4) 本市事業PRに関する、交通局としての取組について伺いたい。
- (5) 広告のデジタル化も含めた、今後の増収に向けた具体的な取組について伺いたい。

6 FCバスの導入について

- (1) FCバスを試乗した際の局長の感想について伺いたい。
- (2) FCバスを試乗した際の自動車本部長の感想について伺いたい。
- (3) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたFCバス導入の決意について伺いたい。

4 齋藤真二委員（公明党）

1 営業力の強化について

- (1) 予算概要の営業力強化にある営業活動の主旨とねらいは何か。
- (2) 営業活動の具体的な取組は何か。

2 地域貢献型バスサービスについて

- (1) ふれあいバスの現在の状況と考え方を伺いたい
- (2) 道路局所管の地域交通サポート事業との連携について伺いたい
- (3) 新たな地域貢献型バスサービスの具体策について伺いたい
- (4) 地域貢献型バスサービスの今後の展開について伺いたい

3 ICTを活用したお客様への情報提供について

- (1) 現在のタブレット型バス接近表示機の設置状況について伺いたい。
 - (2) 手のひらバス接近表示機の機能と運用状況について伺いたい。
 - (3) ICTを活用したバス利用者への情報提供の充実やその方向性について伺いたい。
- (要望) 外国語に対応する情報提供もあわせて検討して欲しい。

4 行政施策と連携した観光・MICE機能の強化について

- (1) 「あかいくつ」の運行ルートのうち「みなとみらい(M)ルート」を27年度に変更し、みなとみらい駅に停車するねらいは何か。
- (2) 「みなとみらい(M)ルート」変更の実施時期はいつごろか。
- (3) 横浜市が推進する観光・MICEなどの文化・観光施策における「あかいくつ」の果たすべき役割と具体的取組は何か。
- (4) これまでのズーラシアと連携した取組は何か。
- (5) 「アフリカのサバンナ」エリア全面開園に向けたPR協力の取組は何か。

(6)「アフリカのサバンナ」エリア全面開園による路線の延伸についての考えを伺いたい。

5 快速運転に合わせて実施するダイヤ改正について

(1) 利便性を向上するためにどのような工夫をしたのか。

(2) ダイヤ改正の中で他社線との接続がどのように改善されるのか。

6 現場の声を活かした市営地下鉄の取組について

(1) 市営地下鉄では現場の声を活かした取組として、どのようなことを行っているのか。

(2) 北山田駅のベンチ設置は、具体的にどのような内容なのか。

(3)「今後もお客様に一番近い現場の声を活かした取組を進めるべき」と考えるが、見解について伺いたい。

7 職員への暴力行為について

(1) 職員が暴力を受けた件数について伺いたい。

(2) 暴力行為を未然に防ぐため、どのような取組を行っているのか。

(3) 発生した暴力行為に対して、どのように対応していく考えか伺いたい。

8 安全管理体制の強化について

(1) 地下鉄の駅業務の委託に関する現状と今後の見通しについて伺いたい。

(2) 今後の地下鉄職員採用についての考え方を伺いたい。

(3) 組織見直しの具体的内容・ねらい及び機能について伺いたい。

(4) 安全性の更なる向上に向けた局長の決意を伺いたい。

1 バス・地下鉄の利用人員の推移と経営状況について

- (1) 平成27年度予算案におけるバス・地下鉄の乗車料収入はそれぞれいくらか伺いたい。
- (2) バス事業における5か年の乗車人員の推移はどうか。
- (3) 地下鉄事業における5か年の乗車人員の推移はどうか。
- (4) グリーンラインの収支について、開業前の予定と実績を比べるとどうか。
- (5) グリーンラインの収支実績が当初の見込みに達していない要因は何か。
- (6) グリーンラインの事業採算性を高めるためには、沿線の更なる開発が必要と考えますが、交通局としてどのように考えているのか伺いたい。

2 地下鉄における増客に向けた取組について

- (1) 地下鉄の沿線開発・まちづくりに関する今日までの交通局の取組について伺いたい。
- (2) 地下鉄の設備・施設面について、どのようなことに取り組んでいるのか。
- (3) 地下鉄のサービス向上について、どのようなことに取り組んでいるのか。
- (4) 地下鉄の増客に向けた魅力発信について、どのようなことに取り組んでいるのか。
- (5) 地下鉄の増客に向けて、今後どのようなことに取り組んでいくのか。

3 市営バス路線の現況と今後について

- (1) 路線別収支にみる黒字路線・赤字路線の5か年の推移について伺いたい。
- (2) 赤字路線を維持するための課題について伺いたい。
- (3) 小型バス路線の収支状況について伺いたい。
- (4) 横浜市生活交通バス路線（維持路線）の利用状況及び収支状況はどうなっているのか。

(5) 採算が厳しい路線については、本市の福祉部門との連携による「福祉バス」路線のような新たな制度が必要と考えるが、交通局としての考えはどうか。

4 本市各局と連携した公営交通のあり方について

(1) 現状において、市営交通と本市各局との連携はどうなっているのか。

(2) これからの市営交通においては、本市各局との連携強化が不可欠であると考えるが、局長の考えはどうか。

(3) 本市各局と交通局の連携強化の必要性について、副市長の見解を伺いたい。

6 伊藤大貴委員（結ぶ会）

1 連節バスの導入検討について

- (1) 連節バス導入を検討する目的について伺いたい。
- (2) 200万円の予算を使って何をやるのか。
- (3) 試走ルートはどこになるのか。
- (4) 本格実施する場合の申請から導入までに要する時間はどれくらいか。
- (5) 連節バスの導入にあたり考えられる課題について伺いたい。
- (6) 国の補助金制度もあるようだが、補助金活用については考えているか。

2 バスの車検整備体制について

- (1) 車検整備をどのような方法で行っているのか。
- (2) それぞれの車検整備方法の車両数の内訳について伺いたい。
- (3) 直営で行う場合と民間車検工場に外注した場合とのコスト比較はどうか。
- (4) 直営で車検整備を行うメリットについて伺いたい。
- (5) 港北営業所が指定自動車整備事業の指定を受けた効果はどのようなものか。
- (6) 今後の車検整備体制の考え方について伺いたい。

3 多様性のある社会と公営企業の役割について

- (1) 障害者施設との協働によるバスターミナル清掃とはどういう事業か。
- (2) これまでの取組実績はどうか。
- (3) 施設あるいはご家族から寄せられている声について伺いたい。
- (4) 多様性のある社会についての所感について伺いたい。
- (5) 事業の位置付けについての考えを伺いたい。

(意見) 他都市において、ハンディキャップのあるなしにかかわらず、多様な人々が混ざり合っていくまちづくりの取組例があるが、この交通局の取組は相通ずると思う。

(意見) 単なる「地域貢献」ではなく、「(心の) バリアフリーの向上」。もっといえば、これからのあるべき社会の姿を体現している事業だから、もっと交通局として大きく打ち出すべきではないか。

7 平野和之委員（みんな）

1 原油と業績計画の修正について

- (1) 軽油年間購入金額、単価、量、計画と現状の進捗について伺いたい。
- (2) 26年度のクォーター（4半期）毎の仕入れ単価と計画の差異について伺いたい。
- (3) 27年度の軽油調達価格の見通しにおいて、年間契約で計画をコミットすれば、現状の予算案からどの程度利益が増えるのか伺いたい。

2 新たな収益拡大と住民の利便性向上等について

- (1) 需要喚起にむけた割引サービスは具体例にどういったものがあるか。
 - (2) 様々な業界団体とタイアップをしたと思うが、具体的に何があるか。
 - (3) 今後の更なる需要喚起を図るには、横浜市の関係部局との連携した取組が必要と考えるが、その見解について伺いたい。
 - (4) 今後のさらなる需要喚起を図るには、横浜市の関係部局との連携した取組が必要と考えるが、その決意について副市長に伺いたい。
- (要望) 横浜の民間企業、海、水関連のタイアップについても検討するよう要望したい。